JF 自民石川
FREEDOM DEMOCRACY PEACE
http://www.hokuriku.ne.jp/jf-isikw

機関誌
第13号
自由民主党
石川県支部連合会
組織広報本部
金沢市鞍月5-255
TEL 076-237-0911（代）
FAX 076-237-0915

自由民主党綱領

一、わが党は、民主主義の理念を基調として諸般の制度・機構を刷新改善し、文化的民主国家の完成を期する。
一、わが党は、平和と自由を希求する人類普遍の正義に立脚して、国際関係を是正し、調整し、自主独立の完成を期する。
一、わが党は、公共の福祉を規範とし、個人の創意と企業の自由を基底とする経済の総合計画を策定実施し、民主の安定と福祉国家の完成を期する。

小泉首相 自民党総裁に再選、衆・参院選への態勢整う

国民の高い人気に支えられ圧勝、景気回復を見据えた構造改革路線の続行を公約

11月9日(日)衆院選投票日、挙党一致態勢で必勝を

二十一世紀初の衆院選、県内立候補予定者の動きも加速
不退転の決意で短期決戦に臨む

自民党総裁選は九月二十日、小泉純一郎首相が一回目の集計で過半数を大きく上回る三百九十九票を獲得し再選された。他の三候補の得票は、亀井静香前政調会長が一三九、藤井孝男衆院予算委員長が六十五、高村正彦元外相が五十四だった。

石川県内の党員・党友票でも小泉首相が他の三候補を圧倒し、地方票七票のうち六票を獲得した。二位の亀井氏が一票だった。首相の得票率は74・51％で首相の地元・神奈川県に次いで全国二番目の高率となった。

石川県選出国会議員は森喜朗前首相、馳浩衆院議員、沓掛哲男参院議員と瓦力元防衛庁長官がそろって小泉首相を支持した。国会議員四氏が足並みをそろえたことで、県連に割り振られた地方票七票も小泉氏優位に動いた。

今回の総裁選では、小泉首相が構造改革の継続を力説したのに対し、他候補はそろって景気回復を優先する政策の転換を主張した。しかし結果的には、十一月の衆院選と来年夏の参院選を控えて、国民から高い内閣支持率を得ている首相に、「選挙の顔」として信任を与えた形となった。

この勢いで衆院選も圧勝！県内三選挙区の戦いもいよいよフル回転

自民党総裁選で圧勝の小泉にそろって投票した県内国会議員四氏は、「次は自分の番」と臨戦態勢に入った。

小泉陣営選対本部長を務めた森喜朗前首相は森派総会で「皆さんの努力で素晴らしい成果を得た」と党内融和と挙党態勢の重要性を述べたうえで「これからは演説は短く、小泉政権は末永く、皆さんの選挙はしっかりと」と強く激励した。

瓦力元防衛庁長官は「衆院選は党の存亡をかけた選挙。県議らとしっかり話し合い、心新たに取り組む」と自らを引き締めた。

県都の代議士のイスを賭けて短期決戦に臨む馳浩衆院議員は「挙党態勢で総選挙に向かう流れが確定した」としながらも「私は八月から臨戦態勢」と不退転の決意をあらためて強調した。

党県連会長の沓掛哲男参院議員は「選挙の顔は地方票で圧倒的な小泉さん以外にない」と総裁選の成果を力説した。

1区、2区、3区とも選対本部が発足

県内の立候補予定者はそれぞれ選挙対策本部を設置し、十一月九日の総選挙に向け、地域、職域支部を含め体制の強化を図ることとした。各区の主な役員は次の皆さん（敬称略）

■石川1区
▽最高顧問　澁谷弘利▽本部長　緩詰潔▽副本部長　米田義三、紐野義昭、長井賢誓、木下和吉、荒井登、米川久美子▽本部長代理　米沢寛▽事務長　下沢佳充▽事務長代理　中村勲

■石川2区
▽最高顧問　中川石雄▽本部長　福村章▽本部長代行　向出勉▽副本部長　善田晋作、吉田歳嗣、藤井義弘（事務局長）、山田憲昭、作野広昭、宮元陸

■石川3区
▽本部長　長憲二▽副本部長　北村茂男、稲村建男、矢田富郎、上田幸雄（選挙事務長）、和田内幸三、小倉宏眷（事務局長）▽事務局次長　八十出泰成、木本利夫、山田省悟、宮下源一郎、宮本惣一郎、宮下正博、小泉勝

自民党総裁選の投票結果

当	総数	議員票	地方表
小泉純一郎	399（60.7%）	194（54.3%）	205（68.3%）
亀井　静香	139（21.2%）	66（18.5%）	73（24.3%）
藤井　孝男	65（9.9%）	50（14.0%）	15（5.0%）
高村　正彦	54（8.2%）	47（13.2%）	7（2.3%）

※敬称略。無効票なし。カッコ内は得票率

自由民主党総裁　小泉純一郎

自民県連の街宣でマイクを握る森喜朗前首相（中央）。右端は、はせ浩氏

小泉再改造内閣の顔ぶれ
【2003年9月22日発足】

総理	小泉純一郎
総務	麻生太郎
法務	野沢太三
外務	川口順子
財務	谷垣禎一
文部科学	河村建夫
厚生労働	坂口力
農水	亀井善之
経済産業	中川昭一
国土交通	石原伸晃
環境	小池百合子
官房	福田康夫
国家公安委員長 沖縄・北方対策 科学技術	小野清子
防衛	石破茂
金融 経済財政	茂木敏充
行政改革 規制改革	竹中平蔵
防災 有事法制	金子一義
	井上喜一

馳浩衆院議員、小泉改造内閣の文部科学政務官に就任

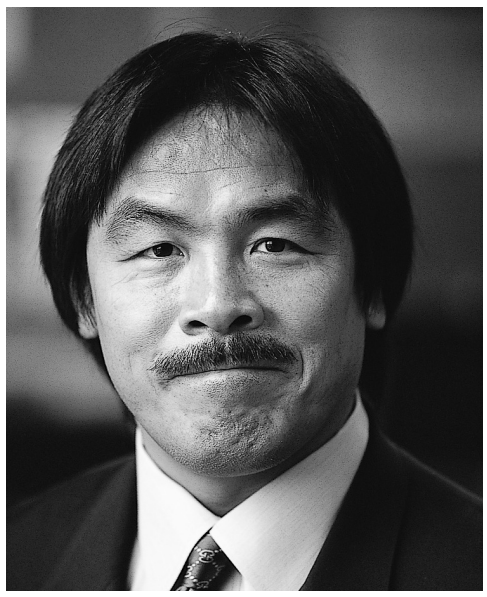
馳浩衆院議員の文部科学政務官就任は、九月二十五日の臨時閣議で正式に決まった。同日夜、首相官邸で行われた辞令交付式に臨んだ後、初の政務官会議に出席。小泉首相の訓示に表情を引き締めた。会見で馳氏は、文科省の課題となっている教育基本法改正について「国民的な議論をおこし、あるべき姿につくり直したい」と意欲を示した。若手文教族としての積み上げが認められての起用。周囲も「はまり役」と納得。石川については「金沢城公園が世界遺産に登録される道筋をつけたい」と大きな夢も描いた。

必勝！次期総選挙石川県選挙区
自民党公認3候補者圧勝を目指す!!

公示日:10月28日〔火〕　投票日:11月9日〔日〕

※不在者投票については、各市町村役場にお問い合わせ下さい。

石川1区自民党公認候補
はせ 浩（42歳）



キャッチフレーズ
子を育て妻をいたわり親守ろう

重点政策

小泉にYES．プラス骨太経済政策

1. 景気回復策―景気回復策と構造改革との両立こそ王道
2. 中小企業対策―中小企業の不良債権問題こそ経済の核心
3. 外交・防衛対策―イラク復興と北朝鮮問題は連動している
4. 少子高齢化対策―子育てを「孤」育てにするな
5. 教育政策―「生きる力・精神力」教育の推進

はせ浩の衆議院1期目「通信簿」

- 議員立法「性同一性障害者特別取扱法」を実現
- 金融庁に「銀行の不正増資防止対策」を新設
- 地元銀行を旧・石川銀行の受け皿銀行に
- 衆議院に「国会内保育室」の確約を
- 小中高校に「ボランティア活動」を導入
- 小泉首相に直談判。京都議定書の批准を実現
- 日中韓の環境問題にとりくむNGOを組織化（11／13ゴビ砂漠植林基金コンサート実現）
- 児童虐待防止法改正案取りまとめ

プロフィール

生年月日●1961年（昭和36年）5月5日生まれ
学　歴●千坂小、鳴和中、星稜高、専修大文学部卒
職　歴●星稜高校教諭時代にロス五輪出場
現在、文部科学大臣政務官、元参議院議員、プロレスラー、文筆家
家　族●妻／恭子　長女／鈴音（りおん）　母／直子

はせ 浩 連合後援会事務所／〒920-0016　石川県金沢市諸江町中丁340-1　TEL.076-237-1717　FAX.076-237-7666
はせ浩ホームページアドレス　http://hasenet.org　　メールアドレス　hase55@po.incl.ne.jp

石川2区自民党公認候補
森 喜朗（66歳）

キャッチフレーズ
構造改革で日本新生 ふるさとの発展に努力 国際社会の安定

プロフィール

昭和12年7月　石川県能美郡根上町に生まれる。
昭和35年3月　早稲田大学商学部卒業。
昭和35年4月　新聞記者、国会議員の秘書などを経験
昭和44年12月　第32回衆院総選挙。無所属で"奇跡"のトップ初当選を果たす。
昭和50年12月　三木内閣の総理府総務副長官に就任。
昭和52年11月　福田改造内閣の官房副長官に就任。
昭和56年12月　衆院大蔵委員長に就任。
昭和58年12月　第二次中曽根内閣発足。文部大臣として初入閣。
昭和62年11月　自民党全国組織委員長に就任。
平成3年1月　衆院議院運営委員長に就任。
平成3年10月　自民党政調会長に就任。
平成4年12月　宮沢改造内閣で通商産業大臣に就任。
平成5年7月　細川連立内閣が発足。野党自民党の初の幹事長として政権奪還をめざす。
平成6年7月　村山連立内閣が発足。1年ぶりに与党復帰を果たす。引き続き幹事長として、自・社・さ三党をまとめる。
平成7年8月　村山改造内閣で建設大臣に就任。
平成8年11月　第二次橋本内閣発足。少数単独内閣を支える総務会長に就任。これで党三役のすべてを歴任。
平成10年7月　小渕内閣が発足。自民党の党勢建て直しの責務を担って二度目の幹事長就任。
平成10年12月　福田・安部・三塚各氏に続き、清和政策研究会会長に就任。
平成11年10月　引き続き幹事長を留任。
平成12年4月　第85代内閣総理大臣に就任。
平成13年4月　内閣総理大臣を辞職、清和政策研究会会長に再任。

森 喜朗 選挙対策本部／〒923-0941　石川県小松市城南町88-2　TEL.0761-23-7855（代）　FAX.0761-23-7850

石川3区自民党公認候補
かわら 力（66歳）

キャッチフレーズ
能登（ふるさと）と日本（くに）のさらなる飛躍に

魅力ある能登を目指して。

ふるさと能登において能登空港の開港は、豊かな海産物や美しい能登半島をアピールする絶好の機会です。農林漁業・観光産業を支援するとともに、空港へのアクセス道路をはじめとした道路網を整備し、空港を核にした地域振興策を推進しています。また、企業誘致をして働く場を広げ、若者のために充実した職場環境をつくる一方、高齢者には地域の特性を生かした社会資本整備をすすめ、快適な生活が出来るふるさとづくりに全力をあげます。

プロフィール

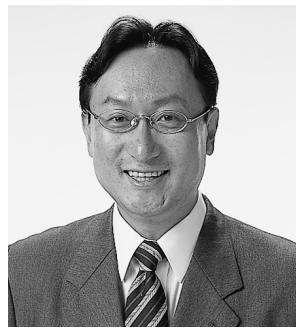
石川県七尾市出身・昭和12年4月1日生　県立七尾高等学校、中央大学法学部卒業
- 第33回総選挙（S47・12）初当選、石川2区（旧）　衆議院議院運営委員会　社会労働常任委員会　大蔵常任委員会
- 第34回総選挙（S51・12）2回目当選　衆議院議院運営委員会（理事）　建設常任委員会　労働政務次官　党国会対策委員会
- 第35回総選挙（S54・10）3回目当選　予算委員会（理事）　党国会対策副委員長
- 第36回総選挙（S55・6）4回目当選　第1次鈴木内閣・内閣官房副長官　衆議院議院運営委員会（筆頭理事）　建設常任委員会
- 第37回総選挙（S58・12）5回目当選　大蔵常任委員会　党国会対策副委員長　党石川県連会長　党総務　建設常任委員長
- 第38回総選挙（S61・7）6回目当選　党全国組織委員長　党副幹事長　第1次竹下内閣・国務大臣　防衛庁長官　党花と緑の運動本部長　広域リゾート特別委員長
- 第39回総選挙（H2・2）7回目当選　安全保障特別委員長　党半島振興特別委員長　党国会対策委員長
- 第40回総選挙（H5・7）8回目当選　党政治改革本部長　党石川県連会長　党安全保障調査会長
- 第41回総選挙（H8・10）9回目当選　第2次橋本内閣・建設大臣　第2次小渕内閣・国務大臣　防衛庁長官　第1次森内閣・国務大臣　防衛庁長官（再任）　国土審議会委員（内閣）・外務委員会・党道路調査会顧問
- 第42回総選挙（H12・6）10回目当選　衆議院無力攻撃事態への対処に関する特別委員会委員長　党公共事業特別委員長・党党紀委員会委員　国防議員連盟会長

現職　衆議院国家基本政策委員長

かわら 力 事務所／〒926-0031　石川県七尾市古府町リ部47番地2　TEL.0767-53-1131　FAX.0767-52-6907
ホームページアドレス　http://homepage3.nifty.com/kawara/　　メールアドレス　kawara.t@nifty.com

2004年、夏に期待乞う

来夏参議院選挙自民党公認候補
おかだ 直樹（41歳）



キャッチフレーズ
世のため 人のため 石川のため
直樹の直は、世直しの直。

重点政策
「世直し」5か条
1. 戦後教育を直す！
2. 外交安保を直す！
3. 中央集権を直す！
4. デフレ不況を直す！
5. 日本国憲法を直す！

プロフィール
昭和37年、金沢市生まれ。東大法卒。新聞記者・論説委員を経て平成14年3月、石川県議補選金沢市選挙区で初当選。自民党県連の要請を受けて15年4月の県議選出馬は見送り、参院選出馬を表明した。現在、自民党県連青年局長、自民党石川県参議院選挙区第二支部長。

おかだ 直樹 後援会事務所
〒920-0981　石川県金沢市片町2丁目2-6　エクセビル7階
TEL．076-223-3430
FAX．076-223-3530
メールアドレス／n-okada@p2222.nsk.ne.jp

党員募集について

自民党石川県連では、平成15年度の党員を募集しています。入党希望の方は所在地の市村支部、職域支部を通じてお申込みください。

☆党費（年間）一般党員　4,000円
　　家族党員　2,000円

『りぶる』を愛読してみませんか

公党で唯一の女性政党誌を購読してみませんか。
購読希望の方は自民党石川県連までお申込みください。
★発行月一回　年間購読料　3,600円